

第72回秋季東北地区高等学校野球宮城県大会

第3位決定戦		仙台市民球場		2時間 30分		打安点盗犠四三残失併									
仙 台 城 南	4 2 0	5 0 0	0 0 3	14	【仙】	40	11	10	1	2	9	8	10	4	2
古 川 工 業	1 1 0	2 0 3	0 0 0	7	【古】	35	8	3	0	1	5	3	7	3	0
(球) 佐藤拓哉		(一) 沼辺力也		(二) 石川英孝		(三) 細川和行		▽本塁打		なし					
【仙】		伊藤, 高橋陸		— 石川, 千葉		▽三塁打		松本, 山崎(仙), 小関(古)							
【古】		岩崎, 小関		— 板垣		▽二塁打		伊藤2 (仙)							
▽暴投 岩崎1, 小関1(古)		▽捕逸 板垣3(古)						なし (古)							

【評】

東北大会出場をかけた一戦。両チーム死力を尽くした試合は仙台南に軍配が上がった。仙台南は春秋通じて初の東北大会出場を決めた。仙台南は1回表に二死満塁から松本の三塁打、伊藤の二塁打で4点を先制し主導権を握った。古川工業は1回、2回と敵失に乗じて1点ずつ返したが、仙台南は2回に暴投や敵失で2点、4回に山崎の三塁打、鈴木の前打などで5点をあげ突き放した。粘る古川工業は4回に敵失で2点、6回には小関の三塁打、岩崎の左前打で3点を取り、追いついた。しかし、9回に仙台南が敵失などで3点をあげてリードを広げた。最後は6回途中からリリーフした仙台南の高橋陸が無失点でしのいだ。

決勝		仙台市民球場		2時間 27分		打安点盗犠四三残失併									
仙 台 商 業	0 0 1	0 0 0	0 0 0	1	【商】	32	6	1	1	1	3	9	8	1	0
仙 台 育 英	0 0 0	0 7 0	3 2 x	12	【育】	37	14	12	2	0	7	3	8	1	1
(球) 布田秀斗		(一) 菅原 幸		(二) 雁部博昭		(三) 森山宏則		▽本塁打		小野寺, 入江(育)					
【商】		濱田, 宮澤		— 大和田		▽三塁打		笹倉, 小野寺(育)							
【育】		菅原, 伊藤, 吉野, 笹倉		— 小野寺		▽二塁打		高田 (商)							
▽暴投 濱田2(商)		▽捕逸 なし						田中2 (育)							

「個人打撃成績」

【仙台商業】	名前	打数	安打	打点	【仙台育英】									
(三)	渡 俊介	4	1	0	(二)	渡邊 旭	4	2	0					
(遊)	高田 大翔	4	1	0	二	平松 秀児	0	0	0					
(投)左	濱田 優斗	3	0	0	(三)	田中 祥都	4	2	0					
(中)	千葉 滉太	4	3	1	(左)	宮本 拓実	3	0	0					
(一)	佐藤 圭悟	4	0	0	(遊)	入江 大樹	4	1	2					
(左)	東海林 稜牙	3	0	0	(一)投	笹倉 世風	5	2	3					
投	宮澤 太陽	0	0	0	(右)投右	吉野 蓮	4	3	1					
打	小松 大騎	0	0	0	(中)	佐々木 涼	1	0	0					
走	松本 陽葵	0	0	0	打中	杉山 歩海	4	1	0					
(右)	及川 満貴	3	1	0	一	村上 健太	0	0	0					
(捕)	大和田 聖也	2	0	0	(投)	菅原 天斗	1	0	0					
打	齋 賢矢	1	0	0	投	伊藤 樹	2	1	1					
(二)	庄司 拓夢	3	0	0	打中	難波 龍世	0	0	0					
打	伊東 篤志	1	0	0	走右中	松本 京太郎	1	0	0					
					(捕)	小野寺 真輝	4	2	5					

「個人投手成績」

チーム名	名前	投球回数	端数	打者数	打数	投球数	被安打	三振	四球	死球	暴投	失点	自責点
仙台商業	濱田 優斗	7		38	33	125	13	3	4	1	2	10	10
仙台商業	宮澤 太陽	1		6	4	27	1	0	1	1	0	2	2
仙台育英	菅原 天斗	3		15	13	45	4	2	0	1	0	1	0
仙台育英	伊藤 樹	4		13	13	44	1	5	0	0	0	0	0
仙台育英	吉野 蓮	1		4	4	16	1	2	0	0	0	0	0
仙台育英	笹倉 世風	1		4	2	13	0	0	1	1	0	0	0

【評】

今大会の決勝戦は、2本塁打を含む14安打12得点の破壊力打線で仙台育英学園が、8年連続23回目の優勝で幕を閉じた。仙台育英は、1点ビハインドの5回、2死無走者から、2番田中の2塁打を皮切りに、2四球をはさみ6連続安打でたたみこみ一挙7得点をあげ試合を決めた。特に9番小野寺は体調不良の捕手木村の代役であったが3点本塁打を含め5打点の活躍で打線を牽引した。投手陣も安定しており定石の続投でねばる仙台商業打線を抑え込んだ。仙台商業は、3回敵失に乗じて4番千葉の適時打で先制点あげ、主戦の左腕濱田の好投で前半は優位に進めたが5回以降仙台育英の猛攻に屈し51年ぶりの優勝を逃した。